

P11

東京大学東アジア藝文書院（East Asian Academy for New Liberal Arts, EAA） 東アジアからの新しいリベラルアーツによる 「空気の価値化」

中島隆博¹、石井剛²、張政遠²、田中有紀¹、柳幹康¹、王欽²
¹東京大学 東洋文化研究所 ²東京大学 大学院総合文化研究科

連絡先：東アジア藝文書院
info@eaa.c.u-tokyo.ac.jp

<https://www.eaa.c.u-tokyo.ac.jp/>



研究・教育・社会連携三位一体による 新しい大学像の提示

EAAは「東アジアからのリベラルアーツ」創成を掲げ、北京大学とのジョイントプログラムとして始まったプロジェクトです。研究・教育・社会連携それぞれにおいてかつてない新たな試みを実践し、21世紀の大学のあるべき姿を提示しています。

【研究】人文学における最先端国際研究ネットワーク

- ・最先端の研究者ネットワークをグローバルに構築し、「世界」と「人間」の再定義に関わる人文社会科学的課題にアプローチ。
- ・現在は、北京大学、ニューヨーク大学、オーストラリア国立大学、ボン大学と提携（ソウル国立大学とも提携準備中）。



研究成果はブックレットとして順次刊行。
現在21点刊行済み。写真は『世界人間学宣言』。

【教育】北京大学とトライリンガル人材を共同育成



2019年に北京大学で行われたサマープログラム。

- ・「東アジア教養学」プログラム：両大学の学生が机を並べて共に学ぶジョイントプログラム。
- ・英中日のトライリンガル教育。
- ・研究ネットワークとの連動による最先端研究と古典文献講読との融合。

【社会連携】リベラルアーツとしてのリカレント教育

- ・文系分野による産学連携としてのリベラルアーツ・リカレント教育。
- ・東大の正規授業をダイキン社員がオンラインで聴講参加する「学術フロンティア講義」。
- ・東大教員が指導する哲学セミナーの開催。



2021年度講義が書籍として刊行。
『私たちは世界の“悪”にどう立ち向かうか』



2022年9月にダイキンTICで開催された哲学ワークショップ



「空気の価値化」を考える

EAAはダイキン東大ラボにおいて未来ビジョン協創連携の一翼を担い、リベラルアーツの視点から「空気の価値化」を考えます。

「価値」と「価値化」の問い直し

- ・「空気」は「社会的共通資本」としての価値をもつ。
- ・空気づくり（Air Conditioning）と人づくり（Human Conditioning）を融合して、非価値の領域を価値化する。
- ・大学が新しい資本主義に向けた変革のプラットフォームになることによって人間は「価値化」される。
- ・大学は新たな価値を生み出すカオスの場として社会全体によって支えられるべき。

人間と自然を基礎づける関係性概念としての空気

- ・人として存在する（Human Being）から「共に人となる」（Human Co-becoming）への人間観の転換。
- ・社会的価値を非市場的社会領域と倫理的（社会的）市場の双方で実現する制度の探究。
- ・空気を人間の諸関係、自然万物の相互関係の動態的平衡の基礎条件と見て、空気を取りなす関係性をインデックス化。

企業と大学の相互変容のダイナモとして産学一体の社会変革駆動力へ

「書院」とは必ずしも立場を同じくしない多様な人が集まり、共に精神的・身体的に成長していく学問探究の場です。EAAは「書院」を標榜することで、人類的な問いや課題を携えて世界中からやってくる学者、企業人、社会人、学生による学問協働空間創設を目指します。EAAは企業と大学が相互に変容しながら、社会と人間のかげがえのない価値にコミットし、明日の世界に対する責任あるステークホルダーとなるのを促し、21世紀の人類に望まれる学問のあり方を実践的に模索し続けます。